

View アレルギー39

特異的 IgE 検査は、
原因アレルゲンの検索と具体的な患者指導に役立ちます

花粉だけでなく、室内に潜むアレルゲンにも注意が必要です

問診から原因アレルゲンを推定しにくい患者さんには、多項目を同時に測定できる特異的 IgE 検査を用いた感作アレルゲンの検索がお勧めです。


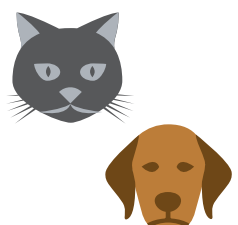
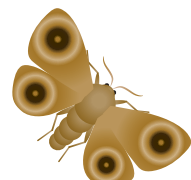
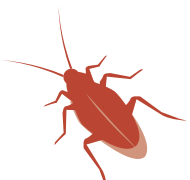
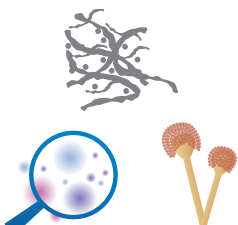
View アレルギー39™ で測定できる室内アレルゲン項目

ダニ	ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1		昆虫	ガ ゴキブリ	
動物	ネコ皮膚 イヌ皮膚		真菌 (カビ)	アルテルナリア(ススカビ) アスペルギルス(コウジカビ)	

※ View アレルギー39 に搭載されているすべてのアレルゲン項目(39項目)は裏面よりご確認ください。



気密性が高く空調設備が整った日本の住環境では、年間を通じて室内アレルゲン量が多くなるため、梅雨時期以外にも注意が必要です。










				
ダニ	ネコ・イヌ	ガ(メイガ・イガ)	ゴキブリ	真菌(カビ)
アレルギーの原因 虫体の死骸やフン	アレルギーの原因 ペットのフケなど	アレルギーの原因 成虫の鱗粉、幼虫のフン	アレルギーの原因 虫体の死骸やフン	アレルギーの原因 孢子など
季節により抗原量の多い少ないはありますが、一年中存在します。アレルゲン量は、夏から秋にかけて増加し秋に最も多くなります ¹⁾ 。	ペット由来アレルゲンは、人の衣類に付着して家の中に持ち込まれるため ²⁾ 、ペットを飼っていない家庭でも存在します ³⁾ 。	屋内には食品などを発生源とするメイガ、衣類や布団を発生源とするイガ(衣蛾)があります ⁴⁾ 。夜行性のため問診での聴取が難しい昆虫です。	通常は夏に繁殖しますが、熱源のある場所では年間を通じて発生します。	アルテルナリア(ススカビ)は湿度の多いところ、アスペルギルス(コウジカビ)は押し入れや靴箱などに発生します。

- アレルゲン量が増える時期とアレルギー症状の好発時期は重なります^{5,6)}
- アレルゲン量が増える時期には、症状の悪化や普段は症状が出ない人でも症状がでることがあります。
- アレルゲンの種類別に除去・回避の方法を指導することが大切です。



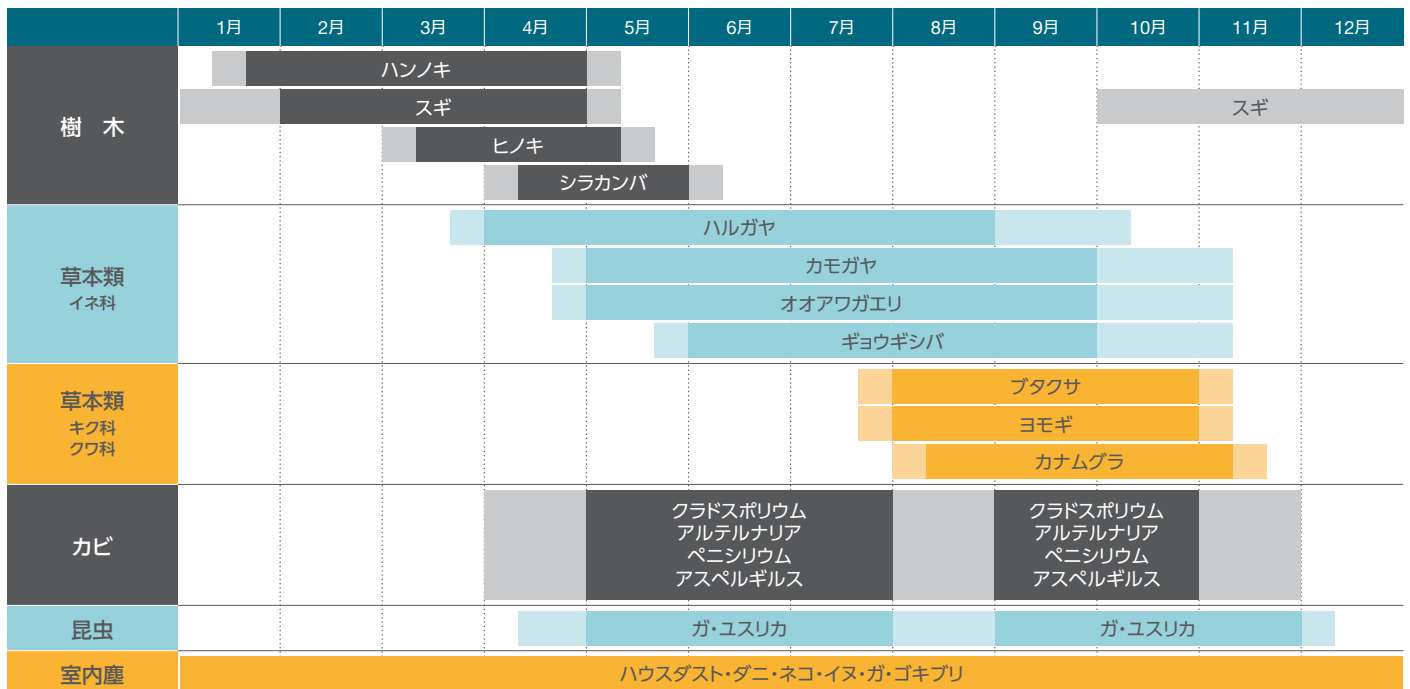
監修：中村 陽一 先生
横浜市立みなと赤十字病院
アレルギーセンター長

家の中にもたくさんのアレルゲンが潜んでいます 7-14)

アレルゲン		生息場所	空中	畳	ジュータン カーペット	布製品 (ソファ、 ぬいぐるみ 製品)	寝具	壁	台所 (食品)	電気機器	クローゼット 押入れ (衣類)	洗面所	浴室	エアコン	書籍 皮革	木材 繊維
動物 (ペット)	イヌ 		●		●	●	●	●			● (衣類)					
	ネコ 															
昆虫	ノシメマダラメイガ 								● (食品)							
	イガ(衣蛾) 						●				●					
	クロゴキブリ 								●	●		●	●			
	チャバネゴキブリ 								●	●		●				
カビ	アルテルナリア (ススカビ) 		●					●	●			●	●			
	アスペルギルス (コウジカビ) 		●	●	●						●			●	●	●
ダニ	ヤケヒョウヒダニ 		●	●	●	●	●				●					

アレルゲンカレンダー

ダニやペット、昆虫などは通年で複数のアレルゲンが存在しており、問診から原因アレルゲンを推定しにくい時期もあります。



植生および時期は地域により若干異なります

鼻水や咳など、風邪のような症状がなかなか治まらない患者さん。それはアレルギーが原因かもしれません。特異的 IgE 検査による原因アレルゲンの推定は診断および患者さんへのセルフケア指導に役立ちます。

セルフケアのポイント

無理のない対策を継続するためにも、原因アレルゲンに応じた対策を指導することが大切です。

室内アレルゲン対策の一例

十分な換気を行う

湿度をあげない
(湿度 70% 以下)

こまめな掃除
(ホコリをためない)



寝室	
ダニ対策	寝具のカバーは定期的に洗濯する 寝具は干した後、掃除機がけをする
昆虫対策 (ガ)	クローゼット、衣類の収納場所には防虫剤を使用する 衣替え時は、洗濯してから収納、着用する
動物対策	ペットは定期的にシャンプーし、寝室に入れないようにする 空気清浄機を設置する

台所	
昆虫対策 (ガ・ゴキブリ)	米びつは、虫除け剤を使用する 食品の保存には密閉性の高い保存容器を使用する 捕獲器などを電気機器の裏や隙間に設置する 蛍光灯カバーなども定期的に掃除する
カビ対策	換気を徹底し、湿気を避ける工夫をする

リビング	
ダニ対策	床は 1 m ² あたり 20 秒以上ゆっくりと掃除機がける カーペット類は避ける ソファやオモチャ類は布製を避ける
カビ対策	エアコンのフィルターは定期的に掃除する サッシの結露はふき取る

アレルギーの原因となる主な花粉

ハンノキ	スギ	カモガヤ	ヨモギ	ブタクサ
1~5月	2~4月	4~10月	7~11月	7~11月

- 花粉情報に注意する
- 外出時にマスクやメガネを使用する
- 帰宅後、衣服や髪をよく払ってから入室する
- 洗顔、うがい、鼻をかむ
- 雑草類の花粉が原因の場合には、花粉飛散時期、雑草が生えている場所にはなるべく近づかない
- 花粉症の患者さんは花粉 - 食物アレルギー症候群 (PFAS) * を起こすことがある ¹⁵⁾

花粉症の方はこんな食物にも注意が必要 ¹⁵⁾

* PFAS (花粉 - 食物アレルギー症候群)

PFAS は、花粉症に合併することが多い食物アレルギーです。花粉に感作した人が特定の食物 (果物・野菜など) を食べた数分後に、唇・口・喉などにイガイガ感や痒み・腫れなどアレルギー症状が出ることがあります (口腔アレルギー症候群 : OAS)。原因は、花粉症の原因物質と果物などの食物中に含まれているタンパク質が類似しているためです。

花粉	飛散時期	花粉と関連性のある食物の一覧
ハンノキ シラカンバ	1~6月	リンゴ・モモ・大豆 (豆乳) など
スギ	2~4月	トマト
オオアワガエリ カモガヤ	4~10月	メロン・スイカ・キウイなど
ヨモギ	7~11月	セロリ・ニンジンなど
ブタクサ	7~11月	メロン・スイカなど

View アレルギー39 とイムノキャップとの判定一致率は 95% です¹⁶⁾

- 現在、国内外のさまざまなガイドラインに掲載され、臨床の現場で広く用いられているイムノキャップとの高い判定一致率が認められています^{17,18,19)}。
- View アレルギー39 によるスクリーニング検査結果に応じて、イムノキャップで精査・経過観察を実施することができます。

View アレルギー39	6				1	16	45	
	5				44	174	16	
	4			77	482	44		
	3		38	1,061	102			
	2	2	122	480	136			
	1	90	334	124				
	0	1,449	77	1				
		0	1	2	3	4	5	6

イムノキャップ 特異的 IgE

View アレルギー39 とイムノキャップのクラス相関

- 39 項目全体**
- 陽性一致率：95.6% (2716/2841)
 - 陰性一致率：94.0% (1449/1541)
 - 判定一致率：95.0% (4165/4382)

View アレルギー39 は、問診や臨床所見から確認すべきアレルゲンがわかりにくい場合の原因アレルゲン同定の補助に有用です

View アレルギー39 測定項目一覧

吸入系・その他				食物系							
室内塵	ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト 1		イネ科 植物	カモガヤ オオアワガエリ		卵	卵白 オボムコイド		豆 類	大豆 ピーナッツ	
動物	ネコ皮膚 イヌ皮膚		雑 草	ブタクサ ヨモギ		牛 乳	ミルク		肉 類	鶏肉 牛肉 豚肉	
昆虫	ガ ゴキブリ		真 菌	アルテルナリア(ススカビ) アスペルギルス(コウジカビ) カンジダ、マラセチア(属)		穀 類	小麦 ソバ 米		魚 類	マグロ サケ サバ	
樹 木	スギ、ヒノキ ハンノキ(属) シラカンバ(属)		職業性	ラテックス		甲殻類	エビ カニ		果 物	キウイ リンゴ バナナ	
									その他	ゴマ	

項目コード	26000	測定アレルゲン	39 アレルゲン (吸入系 18 項目、食物系 20 項目、その他 1 項目)	検査所要日数	3 ~ 4 日
検査項目名	View アレルギー39	基準値	クラス 0 Index : 0.27 未満	検査実施料	1,430 点 ([D015] 血漿蛋白免疫学的検査 [13]) 特異的 IgE 判定量・定量の上限)*
検体量/保存方法	血清 0.9 mL / 冷蔵	報告様式	Index 値により、クラス 0 ~ 6 の 7 段階判定	判断料	144 点 (免疫学的検査判断料)
検査方法	蛍光酵素免疫測定法 (FEIA)				

*アレルギー様症状があった場合、アレルゲン特定を目的に一回の採血に 1,430 点を上限として算定する

View アレルギー39 を使用した特異的 IgE 検査は血液中のアレルゲン特異的 IgE 抗体の量を元に測定しており、「特異的 IgE 検査陽性」と「アレルギーあり」は同一ではありません²⁰⁾。特異的 IgE 検査結果と症状が一致しない場合もあり、特異的 IgE 検査陽性でもアレルギー症状がみられないことがあり、逆に陰性でも症状がみられることもあります。

アレルギーの診断は血液検査の結果だけではなく、詳細な問診や臨床症状、他の関連する検査結果(皮膚テスト、鼻誘発テスト、食物経口負荷試験など)に基づいて総合的に評価する必要があります。

検査陽性、特に食物で多項目陽性の場合には、さらなる問診と既往歴の確認に加え、イムノキャップやその他の追加検査の実施などによる精査、または必要に応じてアレルギー専門医への紹介をご検討ください。

- | | | | |
|------|--|----------------------------------|---|
| 引用文献 | 1) 株式会社ベストマネジメントラボ 高岡正敏先生調査 | 8) アレルギーの臨床 22(9), 675-679, 2002 | 15) 松倉節子ほか, アレルギー・免疫 2010; 17: 1031-8 |
| | 2) 秋山一男ほか, アレルギー・免疫 2013; 20: 418-425 | 9) アレルギーの臨床 22(9), 692-696, 2002 | 16) 医学と薬学 73(6), 2016, 721-6 |
| | 3) Ichikawa K et al. Clin Exp Allergy 1999; 29: 754-761 | 10) アレルギー免疫 7(4), 448-458, 2000 | 17) World Allergy Organization Journal (2020) |
| | 4) 武藤敦彦, アレルギー・免疫 2000; 7: 448-458 | 11) 日小ア会誌 24(2), 203-216, 2010 | 18) 食物アレルギー診療ガイドライン 2016 (2018 年改定版) |
| | 5) Kino T, et al. J Allergy Clin Immunol 1987; 79: 857-866 | 12) 耳喉頭頸 62(4), 297-303, 1990 | 19) 食物アレルギー診療の手引き 2020 |
| | 6) Takahashi T. Mycopathologia 1997; 139: 233-33 | 13) アレルギー 56(3,4), 145, 2007 | 20) 日本アレルギー学会 理事長 出原賢治 (2020): 患者さんに接する施設の方々のためのアレルギー疾患の手引き (2020 年改訂版), 協和企画 |
| | 7) アレルギー免疫 20(3), 418-425, 2013 | 14) アレルギー・免疫 7(4), 468-473, 2000 | |

LSIメディエンス

(本社)101-8517 東京都千代田区内神田1-13-4
インフォメーション TEL:03-5994-2111
https://www.medicence.co.jp/

Find out more at thermofisher.com/allergyinsider-jp

ThermoFisher
SCIENTIFIC

© 2021 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.
Printed in Japan. 2109-ot-VA269-2

サーモフィッシャーダイアグノスティクス株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-2-8 住友不動産三田ツインビル東館

☎ 0120-489-211 受付時間 9:00~17:30 (土日祝日、年末年始を除く) ✉ info-jp.idd@thermofisher.com